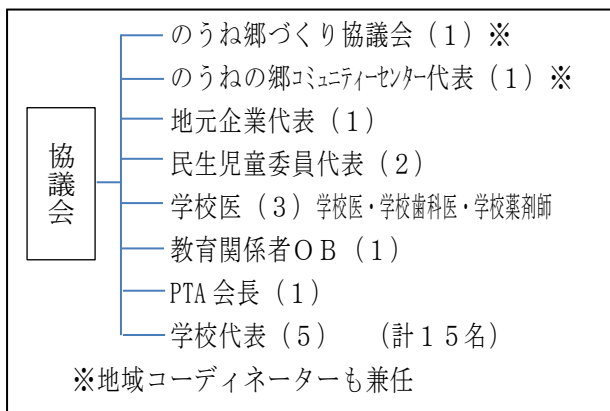


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

長畝小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- 開催回数
 - ・年2回(6月13日、2月28日)
- 協議内容
 - ・地域行事と学校行事の調整
 - ・見守り隊、110番の家の検討
 - ・幼小中連携の取り組み
 - ・学校評価結果の検討
 - ・意見交換

(3) 協議会における成果と課題

のうね健康祭り、郷まつり、味岡山探検隊、ホテル観察会など、のうねの郷づくり推進協議会と長畝小PTAとの共催で実施し、広報活動や準備・運営など協力しあう。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域行事参加や、農業・食育体験や、丸岡の町や長畝地区をPRしようという活動を、地域の方と一緒にすることを通して、地域について学び、地域をよくしていくには何をするとよいのかを考え、実践し、ふるさと丸岡・長畝に誇りと愛着をもつ児童を育成する。

(2) 活動の実際

①長畝・竹田を知り全国に発信(6年生)

各学年が地元長畝・竹田地区に伝わるものや歴史について調べたり体験したりした。また主に6年生が、長畝・竹田地区と丸岡の町の魅力を他へ発信していく方法を考え実践してきた。具体的には、6年生が

長畝・竹田地区の紹介パンフレットを作り、修学旅行の時に京都で、道行く京都市民や旅行者に簡単なプレゼンをしながら手渡した。このことが縁で関東地方に在住の方から感謝の気持ちを表す手紙をいただいた。



②米作りと地産地消(5年生&各学年)

5年生が、田で米を栽培し、全校児童で味わったり、地域の施設に寄贈するなどした。身近なところで米ができるまでを調べ、実際に田植え、草取り、稲刈りを行うことで、米作りの苦労や喜びを学んだ。また、5年生が大豆畑の近くののり面に絵を描く、壁面アートの取組も行った。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

長畝・竹田地区の紹介パンフレットを作るにあたって、分からないことが多くあったので2人の地域コーディネーターにいろいろ教えて頂いたり、訪ね先の施設や人を教えて頂いたり

(様式3)

した。また、米作りや野菜作り等もJAなど教えていただく相手との間を取り持って頂いた。

(4) 特に工夫した事項

長畝小校下は大変広く、住宅地、田畑、里山、そして山あいの竹田地区も含んでいる自然豊かな地域である。その自然や産物等、長畝・竹田のことを詳しく調べる学習から始まった。

①については、全校325名中、竹田地区の子は8名で、竹田地区に住んではいても地区内のことになじみの少ない子も多い。そこで、様々な学年が竹田地区の体験をした。(2・3年生は千古の家訪問、3年生は竹田川での稚アユ放流体験と竹田のあぶらげ屋さんによる豆腐作り体験を行った。なお、4年生は校下の里山である味岡山の探訪活動を行った。)また5年生は大野市内の班別研修を行い、丸岡と同じ城下町である大野の町作りを体感した。これらの体験はまた次年度の地区紹介にも生かされていく。

②については、2年生はいろいろな野菜を栽培し野菜パーティーを、3年生は大豆の学習をして、豆腐作りや味噌造りを、4年生は地区内のトマト農家に出向き、トマト収穫体験等を行った。5年生が田植えをし、刈り取った米は給食で味わい、地区内の老人福祉施設を訪問しプレゼントした。

(5) 成果と課題

もともと毎年行っている体験活動も多く、そこに新たな活動を加えていった。特に、長畝・竹田地区の紹介パンフレットは作る時もプレゼンして配る時も、知っているつもりで地元ながら、知らないことや新発見があったようだ。これらの体験により、さらに地元についてよく知り、愛着を感じているようである。

それぞれの学年での取組内容が決まっており、ともすると同じような活動の繰り返しとなるが、地域の現状に合うように工夫しながら地域交流を進めていきたい。